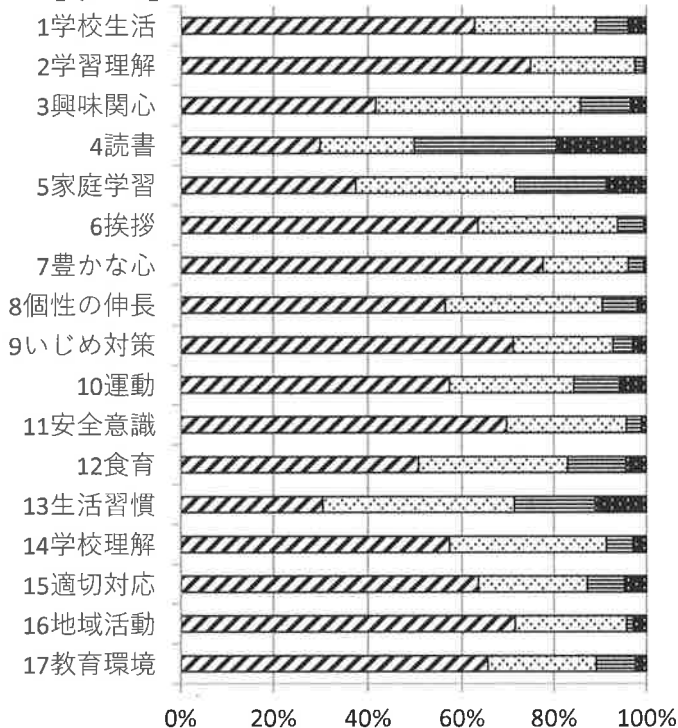
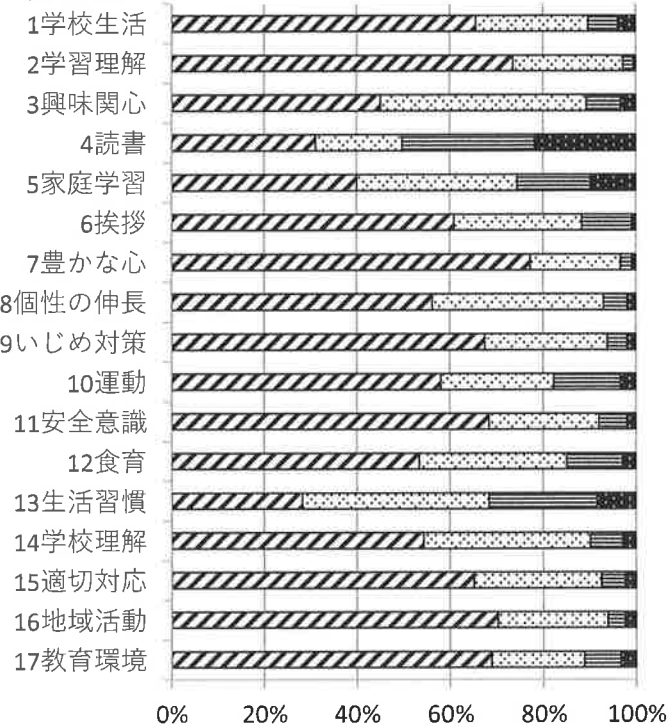


R6 夷隅っ子アンケート 児童 集計結果

【第1回】



【第2回】



■ A ■ B ■ C ■ D

A→そう思う B→ややそう思う C→あまりそう思わない D→そう思わない

<考察>

児童は、多くの項目で肯定的な回答をしました。

授業の中で、まとめを自分のことばで書いたり、ICTを使って考えを交流する学習活動を取り入れたりすることで、「3 興味関心 自分で考えたり、考えを伝えたり、友達の考えを聞いたりして、進んで授業に取り組んでいる。」の項目は第1回に比べ、肯定的な回答をした児童の割合が3ポイント高くなりました。「8 個性の伸長 自分のよいところを伸ばし、友達のよいところを認めている。」の項目も3ポイント高くなりました。今年から始めた縦割り班活動では、上級生が下級生に優しく接する姿がたくさん見られます。自分も友達も大切にすること、人の嫌がることはしないようにしようとする子供たちの意識の向上につながったと考えます。「15 適切対応 夷隅小には、困ったことがあるとき、相談できる人や場所がある。」では、教育相談週間での相談活動や、スクールカウンセラーとの希望面談、学校生活アンケートの実施などにより、児童がいつでも相談できる安心感から、6ポイント高くなったと考えます。

肯定的に回答している割合が最も低かった項目は「4 読書 本をたくさん読んでいる。」です。第1回の結果を受け、図書委員会児童による読み聞かせや、自分の読んだ本を紹介するマイブックなどに取り組んできました。朝の時間など本を手にする児童もたくさんいますので、引き続き、読書の楽しさを味わえるよう改善に努めて参ります。

「1 学校生活 学校はたのしい。」は、第1回同様、肯定的な回答が多くありました。今後も安心して生活できる環境づくりに努め、児童が楽しく学校に通えるようにして参ります。